

小牧市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|---------------------------------|--|
| 研究課題名 (承認番号) | Hounsfield 値を用いた大腿骨近位部骨折術前骨密度評価に関する研究 (231041) |
| 当院の研究責任者 (所属) | 酒井 剛 (整形外科) |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | 該当なし |
| 本研究の目的 | 大腿骨転子部骨折に対して術後合併症を予防するため人工骨やセメントを併用した強固なインプラント固定方法が報告されています。しかし、どのような症例に人工骨やセメントを併用するのが適切なの明確な基準はありません。CT 検査でえられる腰椎海綿骨 Hounsfield 値 (以下 HU) が骨密度に高い相関があることが報告されています。大腿骨頭、大腿骨転子部の HU が骨密度と相関があるとする海外の報告がありますが、アジア人における相関については不明です。本研究の目的は CT 検査でえられる HU を用いて、日本人における患者の骨粗鬆症の事前に評価ができないかを検討することです。 |
| 調査データ該当期間 | 倫理審査委員会承認後～2024 年 5 月 26 日まで |
| 研究の方法 (使用する試料等) | ●対象となる患者さん 大腿骨近位部骨折を受傷されたかたで、入院中に CT 検査、骨塩定量検査を施行されている患者さん ●利用する情報 年齢、性別、受傷部位、骨折型、CT 検査結果、骨塩定量検査結果 |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 愛知県小牧市常普請 1-20 小牧市民病院 電話：(0568) 76-4131 担当者：整形外科 酒井 剛 |
| 備考 | 研究に同意しないこと、又は同意を撤回することによって不利益な取り扱いを受けることはありません。個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合、本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問い合わせ先までご連絡ください。 |